

月報 シオン山

2023年6月4日発行 (No393)

日本バプテストシオン山教会

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

Tel(093)561-0772 Fax(093)561-0760 E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

【月間聖句】

自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけ
にえとして献げなさい。これこそ、あなたが
たのなすべき礼拝です。

(ローマの信徒への手紙12章1節)

「主の山に備えあり」

庄司まり子

コロナ感染症対策も緩和され、私たちの生活も変化しつつあります。
保育園では5月は「父と母をうやまいなさい」の聖句を暗誦し、家族
に感謝するファミリー礼拝や6月は花の日・こどもの日礼拝を守りな
がら過ごしています。

聖書の中には多くの父親、母親が登場します。神に「あなたの愛する息子をささげなさい。」と言われ、神の言葉に従い息子イサクに薪を背負わせ二人で山に登った父親アブラハム。神に祈りやっとなげられた息子サムエルを神に仕える者となるようにと祭司エリに託した母親ハンナ、また祭司エリは溺愛する二人の息子の悪行を止めることができないでいた父親でもありました。

「あなたは独り子である息子すら捧げることを惜しまなかったのも、あなたを豊かに祝福する。あなたが私の声に聞き従ったからである。」と神からアブラハムと子孫は祝福をうけました。サムエルは祭司エリに仕え成長し、預言者となり民を導きました。

聖書には、父親や母親が神を畏れ、信仰によって与えられた子どもを導いていくことの大切さが記されていると思います。両親や家族だけでなく子どもたちは多くの出会いによって、さらに大きく成長させられていると思います。

教会では子どもの声が聞こえてくるが増えてきました。喜ばしいことです。子どもとの交わりを大切に、成長を見守り、信仰が育まれることを教会は祈ってゆきたいと思います。

無牧師になって3ヶ月目になりました。今まで気がつかなかったこと、今気づかされたこと、まだまだ見えないこともあります。しかし信仰の父アブラハムが息子イサクを捧げようとした時、「捧げものはどこにありますか」とイサクが尋ねると「私の子よ、きっと神が備えてくださる」とアブラハムは答えます。

『主の山に、備えあり』（イエラエ）（創世記 22 章 14 節）に励まされながら、受け継いだ信仰を、次の世代に託してゆけますようにと祈ります。